

総括質問

9月定例会では9月4日から9日までの間、16人の議員が総括質問を行い、活発な議論が展開されました。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。)

平塚クラブ

白井 照人 議員

政権交代後の補助金 正しく執行されるか

問 今回の補正予算の財源は大半が国庫補助金で、その額は7億749万7000円になる。前政権時の補助金であるが、確実に執行されるのか。また21年度当初予算に対する補助金も同様と考えるが、見解を聞きたい。

市長 今回の補正予算の財源の多くは、国の補正予算により措置されたものであり、その影響は不明ではあるが、各地方自治体それぞれ予算措置をして事業実施を計画しているものについては、地方分権を進める立場である民主党が、地方の行政運営に支障が出るような措置はしないと考えている。当初予算で措置されたものについても同様と考えている。

れる事が望ましい。

より明るい街路灯は 安心安全の証し

問 犯罪のない、誰もが安心して日々の生活を送ることが出来る社会は、万人の願いである。より明るい街路灯の設置は安心安全のシンボルだ。そこで補正予算に計上された防犯街路灯照度アップ事業予算の計上理由と設置計画灯数、街路灯のタイプを伺いたい。

市民部長 20年度に防犯街路灯の設置方法や温暖化対策、経費削減等の課題に対応した見直しを行い、計画灯数の半分の250灯を設置した。今回、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、見直し結果を踏まえ、42ヶ所、蛍光灯タイプ250灯分を計上した。

新しいごみ焼却炉の 進捗状況は

問 (仮称)次期環境事業センターの建設スケジュールと、ごみ処理広域化への二宮町の復帰について伺う。環境部長 平成21年4月に事業者を募集し、4者が本審査に進んでいる。9月に最終応募書類が提出され、11月に優先交渉権者が決まり21年度中に契約を締結する。工事着手は22年度からとし、まず、し尿処理施設を解体し、順次本工事を進める。二宮町の復帰については町長・議長から申し入れがあり、事務レベルで協議を続けている。

市民部長 20年度に防犯街路灯の設置方法や温暖化対策、経費削減等の課題に対応した見直しを行い、計画灯数の半分の250灯を設置した。今回、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、見直し結果を踏まえ、42ヶ所、蛍光灯タイプ250灯分を計上した。

片倉 章博 議員

本市の今後のまちづくりの方向性について伺う

問 「企業立地等促進事業」、「次期環境事業センター周辺地域整備事業」、「相模小学校移転整備事業」の3事業に対しての考え方と計画について、詳細に伺いたい。

企画部長 企業立地等促進事業は工業活性化促進事業で交付した施設整備助成金

「富士見地区」 町内福祉について

問 現在開村している福祉村への支援および委託料の詳細について伺いたい。

福祉部長 支援については、委託料として事業の運営、地域福祉コーディネーターにかかる経費を支出しており、運営費は1地区に年額68万円を上限とし、地域福祉コーディネーター経費は1地区に年間60万円として

出編 喜文 議員

指定管理者事業について

問 平成15年6月の地方自治法改正により、公の施設の管理運営に指定管理者制度が創設された。行政施設

の運営管理について、従来、公共的団体や出資団体等に限定されていた委託業務が民間の事業者やNPO法人、あるいはボランティア団体なども可能になったものである。本市においても平成18年4月に10施設が指定管理者制度を導入し、平成21年4月現在では、対象109施設のうち19施設で導入されている。その導入率は17.43%になり、今後も積極的な導入が計画されているように見えるが、何を目的とする指定管理者制度の導入なのか。

議会の豆知識

【総括質問とは】

平塚市議会では、年4回の各定例会における質疑・質問の方法は、議案に関する質疑(議案質疑)と行政全般に関する質問(一般質問)の両方を合わせた形で、会派代表制により総括的に行うこととしており、これを総括質問と呼んでいます。3月定例会では、この総括質問のほか代表質問も行っています。発言は多数会派から順番に行いますが、構成議員数が同数の場合は定例会ごとに交代して行っています。なお、会派別時間配分制を採用しており、質問を行う議員の発言回数は3回までとしています。

の運営管理について、従来、公共的団体や出資団体等に限定されていた委託業務が民間の事業者やNPO法人、あるいはボランティア団体なども可能になったものである。本市においても平成18年4月に10施設が指定管理者制度を導入し、平成21年4月現在では、対象109施設のうち19施設で導入されている。その導入率は17.43%になり、今後も積極的な導入が計画されているように見えるが、何を目的とする指定管理者制度の導入なのか。

企画部長 民間のノウハウの活用によって、利用者へのサービスの向上や経費の削減等を図ることで、施設の効率的、効果的な管理運営を実施することを目的としており、結果として行政組織のスリム化に寄与するものと考えている。

問 指定管理者を選定するに当たり、基本協定書、年度協定書、計画書、年次月次報告書等が求められている。その中で、平塚市聖苑では利用者のアンケート等というものがあがるが、このアンケートでは、どのような結果が出ていて、どのような評価をしたのか聞きたい。また施設設備維持管理業務の報告書の中に近口中に協議したいとの項目があったがどのように対応したのか。

市民部長 内容的には感謝の意見が多く、おおむね良好な評価をいただいているところである。管理上で問題点があったのかのことだが、特に修繕に関して緊急を要するもの等はなかった。ただ、施設の炉の修繕については市の管理で行っている。

問 自転車駐輪場の計画については、計画が固まるまでは外部に情報を出さないようにしていると言いがらささまざまな情報が出てきている。これはどういったことなのか。情報を共有することが自治基本条例の精神ではないのか。

市民部長 ある程度内容が固まったものについては、市民、議会等に説明を行い、意見を伺いながら自治基本条例に沿った対応を進めていきたい。